

第34回全日本教職員連盟

教育研究全国大会

挨拶文

公明党幹事長代理

衆議院議員

富田 茂之

公明党幹事長代理、文部科学部会長を務めております、衆議院議員の富田茂之です。本日は、地元選出の梶屋敬悟衆議院議員もお招きいただいておりますが役目上、公明党を代表して、御挨拶申し上げます。

まず、山口那津男代表より、メッセージを預かってまいりましたので、代読させていただきます。

第34回全日本教職員連盟教育研究全国大会のご盛会を心よりお慶び申し上げます。「美しい日本人の心を育てる」との理念のもと、一貫して教育専門職としての使命を自覚され、教職員の資質向上や研修の充実など、日頃よりご活動を展開されている皆様に、深く敬意を表します。

今、子どもを取り巻く課題や環境が多様化、複雑化し、あらたな対応が求められており、子どもたちの最大の教育環境である教師の役割が益々重要になっています。しかし、教職員の皆様の勤務時間が大きく増加し、本来行うべき業務に向き合うことが困難な環境が続いています。

今、政府全体で「働き方改革」を推進している中で、私たち公明党も、教職員が教育専門職として職務に専念できる教育環境を整備・充実させるため、「教員の働き方改革検討プロジェクトチーム」を発足させ、現状と課題について、貴連盟の皆様からのご見解を伺ったところです。引き続き、皆様のご意見をお伺いしながら、教職員の皆様が本来の教育者としての使命が果たせるよう、学校現場の実情を踏まえた施策を講じてまいる所存です。

最後になりましたが、貴連盟の益々のご発展と皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

平成29年8月6日
公明党代表 山口那津男

こうのたつのぶ

さて、私は、全日教連の河野達信 元委員長と共に、安倍総理を本部長とする教育再生実行会議に、4年半、参画させていただき、10次にわたる提言をまとめさせていただきました。

これらの提言を受け、様々な教育施策が実行に移されてきました。殊に、昨年秋から今年の通常国会にかけて、私自身も長年取り組んできた給付型奨学金の創設、無利子奨学金の拡充、新所得連動返還型の導入等の、奨学金制度を大幅拡充するとともに、不登校の子どもやフリースクールの支援、夜間中学の設置・促進を目指す「教育機会確保法」を成立させました。私自身も議員立法の提出者として、大変誇りに思います。

さらに、発達障がいのある児童・生徒らが、授業を別室で受ける「通級指導」や、特別な指導が必要な子どもへの教員配置を手厚くする「改正義務標準法」も、通常国会で成立しました。

2017年度予算編成過程で、財務省は、「実現は難しい」との一点張りで、政府・与党として、一度は見送る方向へと傾きかけましたが、公明党が最後まで粘り強く主張し続けた結果、実現する運びとなったことを御報告したいと思います。

林芳正新大臣とは、昨年暮まで8年半にわたり、毎月1回マスコミや各省庁の幹部らと共に、勉強会を開いて共に学んできた仲間であります。山口県出身の林芳正・文部科学大臣をしっかりとバックアップし、郡司隆文委員長を始めとする全日教連の先生方と連携を深めて、日本の将来を担う子ども達のために全力を尽くすことをお誓いするとともに、教育研究全国大会の大成功を祈念し、御挨拶とさせていただきます。

以上